

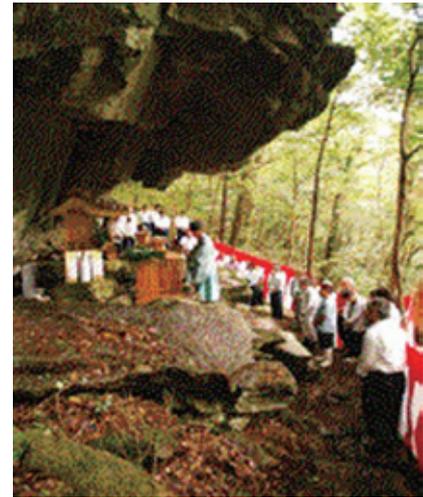


修復された目黒山
山神宮で安全祈願
〈愛媛森林管理署〉

九月二〇日、愛媛森林管

理署の目黒森林事務所管内にある、目黒山山神宮の移設に伴い、安全祈願祭を行いました。昭和一一年に目黒斫伐事業所が発足した際、安全な事業実行のため目黒山二〇八五林班の岩屋に祠を設置していましたが、当時は林道等が開通しておらず利便性が悪かったため、昭和四八年に目黒林道起点に祠を移転しました。その後、目黒林道と保

目黒山山神宮での安全祈願



送会社等、様々な関係者及び関係機関にご協力をいただき、岩屋への移設を行いました。

ける安全を祈願しました。参加者からは、「とても立派な祠に修復されている。これを機により安全な作業を心がけたい。」といった声がかれました。

戸峰林道とが接続し利便性が向上したこと、また祠が老朽化したことから、地元住民の方々より祠を修繕し、当初の場所に戻して欲しいとの要望がありました。

は、愛媛森林管理署職員及び九月時点で南予計画区において事業実行中の請負事業体に参加し、大山祇神を祀る目黒山山神宮及び御代ノ川山山神宮で

愛媛森林管理署では、今後とも、労働災害の減少に向けて、関係機関や関係者と協力しながら取り組みたいと考えています。

今回の修繕及び移設に際し、発起人である松野町在

和霊神社の神官に祝詞を唱えていた

住の吉福文雄氏をはじめ、

だき、参加者一同、

宇和島市在住の影平忠重

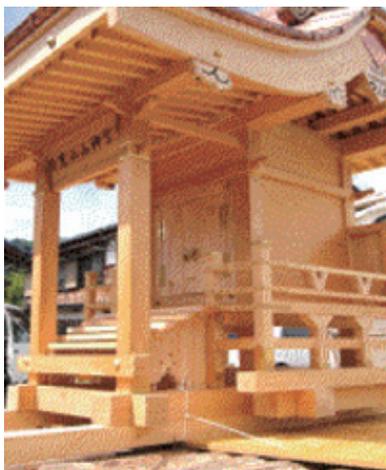
安全に対する意識

氏、民間の林業事業体や運

を向上し、今後の

氏、民間の林業事業体や運

国有林野事業にお



修復された祠



「森林作業道現地
検討会」開催
〈香川森林管理事務所〉

一〇月四日、高松市塩江

町の鷹山国有林において「森林作業道作設技術現地検討会」を昨年に続き開催しました。

今回の現地検討会は、作業道作設技術のさらなるレベルアップを目指して、林野庁森林技術総合研修所林業機械化センターの加利屋教務指導官と伊久間係員を講師に招いて開催したもので、森林組合等の林業事業体や県・市町職員等の総勢

四九名の参加者となりま
した。

講師からは、「森林作業
道作設のポイント」と題し、
「基本的には軽四輪が通行
できる道づくりを考える。」
「工法や使える資材（石等）
等は地域や現場毎に違って
おり、それぞれに
あったやり方で考
えること。他の現
場でやっているこ
とが、この現場で
できるとは限らな
い。」「線形を決め
るときには、まず
残す木を決める。」
等ポイントとなる
事項を具体的に説

作業道作設の説明1



明、また、これまでの失敗
事例や適正な作業道へ補正
する改修技術として「急勾
配の登坂路の縦断勾配は、
S字カーブを入れ距離（延
長）を長くして緩和する。」
等、ポールを手に身振り手
振りを交えた熱心かつ丁寧

作業道作設の説明1

なアドバイスに、参加者か
らは「凄くわかりやすく理
解できた。」「あまり考え
たことなかったが、納得が
できた。」等の感想が寄せ
られました。

その後、オペレータをし
ている参加者に実際に機械
を操作してもらいながら、
表土の取り方や置き方、転
圧にあたっての注意点、さ
らには丸太を使ったアン
カー補強のやり方等につい
て詳細な指導をいただきま
した。

最後に、参加者から「こ
のような研修の機会は大変
貴重。どのようにすればこ
のような指導ができるよう

作業道作設の説明2



になるのか。」との質問が

あり、講師からは「事務方
が指導する場合、実際に
機械を操作することが少
ないことから、こうした
指導は難しいと思う。し
かし、様々な機会（研修
会等）を捉えたり、先進
的な事業体から学ぶなど
して指導力の向上に常々

努めてほしい。林業機械
化センターも協力し、セ
ンターの研修に参加いた
だいて実際に機械を操作
することで技術を習得し
てほしい。」と回答、参加
者一同、技術向上の必要
性と経験を重ねる重要性
を改めて認識し、無事終
了しました。

当所では、今後ともこう
した機会を多く設けて、森
林作業道の作設技術のレベ
ルアップを図るとともに、
民国連携による共同施業に
についても推進していく考え
です。



一〇月八日、九日の二日間、「香り豊かな 香川のヒノキ」をテーマに「2016 ウッディフェスティバル」がサンメッセ香川を会場に開催され、香川森林管理事務所も参加しました。

今回で二九回目となるウッディフェスティバルは、香川県木材需要拡大協議会等が主催となって県産ヒノキの普及を目的に開催、製材加工センターや木造住宅設計士、工務店等

三〇以上の団体が出展し、新築やリフォーム、地震対策等、木材を使った建築に関する様々な相談はもとより、「親子木工ワークショップ」や「チップの海での宝探し」「ミニログハウス上棟式での餅投げ」「丸太切り競争」など盛りだくさんのイベントも行われ、



ケロケロカエルだよ

ハロウィン飾り製作中



二日間とも大勢の家族連れ等で賑わいました。

毎年参加している香川森林管理事務所では、森林づくりや木づかいの大切さを伝えるパネル展示やパンフレットを配布するとともに、技術普及課から応援をいただき、「クイズに答えればビンゴゲーム」や「木工

教室」を実施。ビンゴゲームでは賞品の「ジージーゼミ」や「ケロケロカエル」を手に入れようと開幕早々から大勢の親子連れがクイズにチャレンジし、長蛇の列になるなど、始終歓声が絶えない大盛況ぶりでした。また、木工教室でも

子どもたちが思い思いのハロウィン飾りに夢中となり、次から次へと個性豊かなハロウィン飾りができあがり、お母さん方からも「素敵！、さっそく飾ります。」と大好評でした。

香川所のブースには二日間で一三〇〇人を超える親子連れが訪れ、フェスの盛り上げに大いに貢献できたものと考えています。また、クイズラリーの出題者としても参加、今年から山の日が制定されたことや「木づかい」の大切さを



秋の空とジージーゼミ

アピールしました。

香川県では、民有林もこれから本格的な伐期を迎えていくことから、当所では来年以降も盛り上げに協力していきたいと考えています。



一〇月一五日及び一六日の両日、久万高原町の恒例イベント「第四六回久万林業まつり」が同町の久万公園ほかで開催され、大勢の家族連れや観光客などで賑わいました。

参加者で賑わう当署ブース



このイベントは基幹産業の林業を広くPRしようと、町内の林業関係者らでつくる実行委員会が毎年開催し、今年は初日に町内の木材市場三カ所で優良材の市売りを開催したほか研究成果の紹介、町内の農林産物や加工食品などの販売が

ありました。

このイベントには、当署も毎年参加しており、今年も石鎚山系に生育する珍しい植物の写真パネルや大正時代の久万高原町内の国有林写真などを展示するとともに、主に小学生を対象とした間伐材



世界にひとつのマイプレート

を使用した昆虫の「木のプレートづくり」コーナーを設けた結果、二日目の昼すぎには用意していた約二〇〇組の材料キットがなくなるほどの大盛況ぶりでした。

屋外では、家族連れらに無料提供された町内産のスギ材を使い、親子

で協力して切り分けた木を丁寧に組み立て、日曜大工に汗を流す姿が見られ、多くの方が木材にふれあう貴重な機会になったと思います。

また、今年はまだ

つりの記念企画として、町内にある県森連久万山木材市場、(株)久万木材市場、久万広域森林組合久万市場の三原木市場が初の取組として共同販売会を開催しました。

当署からも委託販売契約している(株)久万木材市場に優良材のスギ約三〇立方m、ヒノキ一立方mを出品し主催者から感謝されるとともに、出品材の最高値は径級四四cm、長級八〇mのヒノキに立方m当たり一三万円を越える値段がつくなど地域のイベントに大いに貢献することが出来ました。

合同市の状況



当署としては、このような林業の活性化に繋がる行事には今後とも積極的に参加し、国有林のPRを行うとともに、たくさんの方に木に親しんでもらいたいと思います。



一〇月一七日、高松市内において、香川国有林等所在市町長有志協議会を管内の国有林野の所在する市町長等及び県・局署関係者一七名参加のもと開催しました。

本協議会は、地域社会と国有林野事業の連携の強化を図り、地域における産業の振興又は住民の福祉の向上に寄与することを目的に年一回開催しているものです。

今年の有志協は、「民有

林と国有林が連携した地方再生の取組」をテーマとして、代表世話人である栗田まんのう町長の進行で議事が進められました。

会議では、管理局や当所から事業概要が説明された後、市町から地方再生への取組に等に関する意見や要望が出されました。



有志協議会の状況

まんのう町からは、林業、木材産業の振興を図り、定住を促進するために、町内の森林から生産かつ加工された町産材を使って住宅等を新築または増築する場

合に建築経費の一部として最高二〇〇万円まで補助できるようにしたことや、また、町産材をふんだんに使った児童館を二カ所建設予定との紹介がありました。また、東かがわ市からは、近年シカの生息が確認され始めたので被害が確認されたら国有林の協力を願いたい、等の意見が出されました。

管理局や当所からは、各市町の取組に対し支援・連携を推進したい旨回答し、

有意義な意見交換が行われました。



一〇月一八日、一九日の二日間、飯野山国有林において、坂出市消防本部・香川県防災航空隊と合同で救急・救助訓練を実施しました。

この訓練は、坂出市消防本部が実施する本格的な山岳救助訓練に併せ、当所が合同訓練を要請し実現したもので、当所職員も二班に分かれて訓練に参加しました。

初日は、職員がスズメバチに頸部を刺され自己注射器を使用した想定、二日目は、職員が滑落事故に遭った想定で訓練を行いました。

同僚職員が一一九番通報、消防本部の隊員が現場に急行し応急手当等救護を行うとともに防災ヘリの出動要請、実際に防災ヘリに被災職員を収容し病院まで搬送して病院への引き継ぎ、と一連の訓練が行われましたが、隊員には全く訓練のシナリオが示されず現場で状況判断して臨機に対応する本番さながらの隊員の訓練に、参加した職員も緊張感を持って隊員

救護訓練の様子



と連携し真剣に取り組んでいました。

訓練後、連携体制等を確認した後、県防災航空隊長と当所所長による講習を行い訓練を終了しました。

国有林でも請負事業での災害はもとより、職員の滑落事故等が多発傾向にあります。一方、近年の登山ブー

ムを受けて香川県内でも山で転倒・滑落等によるケガや遭難が増えるなど、消防や防災ヘリの出動回数も年々増加傾向にあるのとことです。

今回の訓練では、登山者のみならず国有林野事業における労働災害など山間部での事故や災害において、救急隊との連携により、いかに迅速且つ適切に被災者を救護し医療機関に引き継ぐことの重要性について職員全員が再認識することができた貴重な体験となりました。

なお、県防災航空隊とは、今回の訓練を機に、より奥地の国有林でも合同救

助訓練を行うこととしていきます。

防災ヘリ収容の様子



池本所長による講習



愛媛国有林野等所在市町長有志協議会を開催
 一〇月一九日、愛媛県武道館において、「愛媛国有林野等所在市町長有志協議会」を開催しました。



本協議会は地域社会と国有林野事業の連携の強化を図り、地域における産業の振興又は住民の福祉の向上に寄与することを目的に年一回開催しているものです。

会議には管内市町から河野久万高原町長、清水愛南町長をはじめ担当部課長等、川畑署長ほか署関

有志協議会の状況



係者、四国森林管理局から田口森林整備部長、松本計画課長、オブザーバーとして重松愛媛県森林局長が出席し、代表世話人である河野久万高原町長の議事進行により、四国森林管理局及び当署の事業概要、平成二九年度林

野庁予算概算要求の概要等が説明された後、各市町から国有林に対する意見や要望等が出されました。

各市町からの意見や要望として、久万高原町から林業担い手の確保のための安定的な事業の発注や低コスト化に関する技術開発と民間への普及が要望されるとともに、国有林材の安定供給システム販売やシカ被害対策の詳しい内容や保安林内の植栽本数削減、また剣山地区でのクマの生息状況についての質問等が出され、これらについて熱心な意見交換を行いました。当署としても市町からの

意見等を踏まえ、愛媛県内唯一の林野庁の優先機関として、より一層公益重視、民国連携を推進し、「国民の森林」として相応しい国有林の管理経営に取り組んでいきます。



一〇月二一日、奈半利小学校六年生一九名、保護者一三名、先生二名と、当署より、署長外六名で野根山街道散策を実施しました。この行事は、奈半利小学校が、三〇年以上前から「自然に親しむ体験」と「地域

の歴史学習」を目的に行っている行事で、当署も毎年参加しています。

野根山街道は、奈半利町から東洋町を尾根伝いに結ぶ山道で、一三二二年の「承久の乱」にて流刑となった土御門上皇が通られ、また、藩政時代には参勤交代の通行路、幕末には中岡慎太郎などの志士脱藩の道になるなど、多くの歴史を刻んで来た古道です。

今回は、宿屋スギ登山口から米ヶ岡生活体験学校ま

での約七kmのコースを歩きます。

宿屋スギでは、児童が手をつないで、幹周りを囲み、「大きいね〜」などと言いながら、その大きさをひしひしと実感しているよう



宿屋スギの大きさを実感する児童

した。

途中に、イノシシが作ったヌタ場に足をとられたり、石や枝につまづいたりしながらも、楽しく自然を満喫していたようです。

また、「宿屋スギ」や「笑い梅」等の名前の由来などの、地域の歴史などに興味を示していました。

下山後の解散式では、児童の代表より、「街道の途中には、急な坂道や、穴のあいたところで転びそうになったり、石畳のところでは、苔があつて滑りそうに

散策の感想を発表する児童



なったりしましたが、自然に触れる良い経験になりました。」などの感想が発表されました。当署としても、地域の児童や保護者の方が地元の自然や歴史、また、国有林に親しむ良い機会でもあり、

この先四〇年、五〇年と続けていけるような、奈半利小学校の伝統行事として協力していきたいと思う一日でした。



高知労働基準監督署と高知中部森林管理署及び嶺北森林管理署による連絡協議会を一〇月二四日に嶺北森林管理署管内の桑ノ川山国有林五林班において開催しました。

当日は、監督署から署長および安全衛生課長に参加

いただき、現場にて嶺北署長の開会挨拶後、監督署より管内労働災害発生状況等の説明を受け、午前中は森林環境保全整備事業（保育間伐【活用型】）、午後は治山工事（谷止工）と二箇所



保全整備事業パトロール

の現場パトロールと講評を行いました。パトロールでは、各事業の間伐【活用型】、午後には治山工事（谷止工）と二箇所の現場パトロールと講評を行いました。現場においては、集材機周辺の通路となる部分の資材の整理等について指導を受けましたが、治山工事現場では、「会社の中で安全の継承がなされており、安全に対する「詰め」もすばらしく他の模範となる現場」とのお褒めの言葉をいただきました。

また、監督署からは「より安全にという視点で、現場の姿勢や雰囲気を見ている。私どもが点検に入った現場からは災害を起こさせ

治山事業パトロール



ないという姿勢で点検等を行っている。ご協力願います。」との協力要請がありました。

最後に高知中部署長より閉会の挨拶があり、今後とも連絡協議会を通じて、労働基準監督署と森林管理署が連携を図りながら森

林・林業の現場から労働災害を無くしていくことを確認し連絡協議会を終わりました。



この現地検討会は、一〇

月二七日、三好市と東三好町の林務担当者をはじめ、徳島県、森林整備センター徳島水源林整備事務所、事業体と国有林に隣接する民有林所有者など、四三名が参加しました。
今年度の生産事業地である落合国有林において、列

試験地での説明1



の林務担当者の経験不足等による技術者育成が懸念され、林業を観て学ぶ機会が必要との地域からの意見を踏まえ、当署が計画・実行したものです。

検討会では、伐採列幅、残存列幅などが異なる三つの試験地毎の

伐採率・量、作業工程などの説明の後、意見交換を行いました。

この取組は、本年四月に地域の森林・林業の再生に向けた課題解決について、民国連携して取り組むことを目的として設置した「三好地区ケーススタディ会議」において、市町村

めないためには、伐採列を検討する段階で、それにあつた作業道の整備が重要なのではないかと、活発な意見交換がされました。

徳島署では、今回出された意見等を踏まえ、これからも列状間伐の拡大・普及に努めていきます。

試験地での説明2





11月の 行事・イベント情報

平成 28 年 11 月 7 日（月）

四国国有林等所在市町村長連絡協議会

【四国森林管理局】

平成 28 年 11 月 10 日（木）

「シカ被害地での低コスト再造林」現地検討会

【高知県四万十町大正 コビ穴山国有林周辺】

平成 28 年 11 月 12 日（土）

保護林観察ツアー

【高知県高岡郡津野町 小筋畝山・不入山国有林】

平成 28 年 11 月 12 日（土）

寒蘭花の展示

【四国森林管理局 1 階 ふれあい館 9:00 ～ 16:00】

平成 28 年 11 月 14 日（月）～ 11 月 18 日（金）

会計実地検査

【四国森林管理局・徳島署・香川所・四万十署】

平成 28 年 11 月 28 日（月）～ 11 月 29 日（火）

第 2 回森林管理署長等会

【四国森林管理局】

平成 28 年 11 月 29 日（火）

発注者綱紀保持研修

【四国森林管理局】

平成 28 年 11 月 30 日（水）～ 12 月 2 日（金）

土木技術研修

【四国森林管理局】

